長崎県議会議員2期目　会派：改革21・新生ながさき

山田ともこだより No.19

子育て
マッサイチュー！

暮らしを守り、防災力を高め、子育て環境・福祉の充実を！

長崎県議会議員
山田朋子（2期目・42歳）
■佐世保市・佐々町・小値賀町選出
■文教厚生委員会委員
■離島半島振興特別委員会委員
■息子は中学2年生、自宅は須佐町

ご　挨　拶

政策こそ、地域・暮らしの処方箋

新緑の候、皆様方にはお変わりなくお元気にお過ごしのことと、心よりお喜び申し上げます。早いもので、皆様のご支援により２期目の当選を果たさせて頂き３年が経過しました。この間、県北地域で唯一の女性議員として、さらに乳がん治療や子育てを経験している立場から、自分がどのような役割を果たすべきか、毎日考えながら仕事にあたっています。

議員にとって最も重要な活動は、本会議や委員会の場における課題提起とその解決を促すための提案だと考えています。今年の３月も一般質問に登壇させて頂きました。政局本位の議会運営に終止符を打ち、政策論議で着実に結果が出せる県議会を目指していく必要があります。政策課題は山積みです。

引き続き、県民の皆さんと触れ合い、語らい、懸命に働いて参る所存でございますので、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

毎年の春と夏、若者の政治参加を促進！

◎議員インターンシップを企画する大学生と共に活動。

地域をかける。　地域の声を集めて、県政へ届けています。

2014年2月3日
須佐神社節分祭で豆まき

2014年4月13日
佐々町口石地区演芸大会

2014年4月19日
世知原町の皆様と意見交換

2014年5月10日
全駐労ソフトボール大会

2014年5月11日
日宇川の水辺　完成記念式典

2014年5月14日
朝の街頭報告を行っています

山田朋子（やまだともこ）の略歴

◎昭和４７年４月６日生まれ（現在　４２歳）
◎小佐世保小学校、旭中学校、
　聖和女子学院高校、佐賀短期大学卒業
◎メーカー系商社に勤務、父・山田正彦衆議院議員秘書
◎平成１９年　長崎県議会議員初当選
◎平成２０年　乳がんを患い、入院・手術を経験
　平成２３年　長崎県議会議員２期目当選
◎平成２４年　長崎県議会総務委員会委員長
　（現在　文教厚生委員会委員）

公式ブログにて、情報発信中!!

アメブロのほかに
Facebookでも
様々な情報発信を
行っています(^^)/

活動報告を掲載

山田ともこ事務所
〒857-0805　佐世保市光月町8-20
TEL：0956-37-0058　FAX：0956-37-0078

２０１４年３月１２日　県議会一般質問の主な内容

質問力

問題提起、政策立案、そして、質問！！

～ 県民の声を知事・行政へ伝える ～

就労支援　女性が働きやすい環境に

山田　私が提案し、設置が決まった女性の就労支援を一体的に行う「ウーマンズジョブホットステーション（仮称）」について、そのサテライトオフィスを佐世保市や諫早市にも設置し、取組を県全体へ拡げるべき。

県　利用状況やニーズを踏まえながら、他の地域へのサテライト設置についても検討していきたい。

ひとり親支援　みなし寡婦の適用を

山田　婚姻歴のあるひとり親世帯は、税制上の寡婦控除が適用され、所得税や住民税の所得控除をはじめ、公営住宅の家賃や保育料が軽減されるが、非婚のひとり親世帯には適用されず、不平等な状態。みなし寡婦を適用し、県営住宅の家賃軽減を導入すべき。

県　他県の状況や各市町の考え方を参考に検討する。

性被害対策　ワンストップ相談窓口の設置を

山田　女性や子どもなどの弱者が被害者となる性犯罪は、加害者の約８割が親族や知人、職場関係にあり、被害届が出せず泣き寝入りする方が多くいる。そんな中で、よりきめ細かな相談・支援体制を構築するため、「性被害者ワンストップ支援センター」の設置が求められている。九州でも、福岡・佐賀では既に設置され、沖縄県は設置予定、熊本・大分でも設置に向けた協議会が立ち上げられている。長崎県も１日も早い設置に向け取り組んでいただきたい。

県　警察・病院・医師会・弁護士会や民間支援団体などからなる協議会を早急に立ち上げ、適切な相談支援のあり方について検討を進めていく。

学童保育　県単独補助と環境整備の推進

山田　子どもたちや働く保護者にとって欠かせない放課後児童クラブへの母子家庭等児童助成事業と障害児受入促進事業の存続を求める。夏休みに学校の空き教室を開放するなど、学校との連携を強化すべき。

県　補助事業は国の制度改正の動向を踏まえ、クラブや市町と協議を行う。学童と各市町の福祉部局、教育委員会との連携強化に努めていきたい。

里親支援　里親さんのフォローアップを

山田　子どもたちの虐待経験や発達障害などで、里親に高いスキルが求められている。新たに設置が決まった「里親育成センター（仮称）」の充実を図り、子どもたちのためにも、里親支援の輪を拡げてほしい。

県　個別支援のさらなる充実に努めていく。

すべての子供たちの未来のために。

山田ともこの提案が14年度予算に反映

◎県立高校の屋根貸しで、太陽光発電を導入

県の公有財産を有効活用し、再生可能エネルギーを普及させるため、新たに 14 年度予算で「県立高校の屋根を民間業者に貸し出し、太陽光発電を行う」事業が盛り込まれました。これは、24 年 11 月において、私が「公有財産の適正活用は必要であり、教育現場に太陽光パネルを設置することで、子どもたちの環境意識の向上につながる」と提案した政策が実ったもの。14 年度は、川棚高校、佐世保東翔高校、西彼農業高校、西陵高校、大村高校、大村工業高校への設置が行われます。

◎女性の就労支援施設を新たに設置

私は、25 年９月の県議会で、女性の就労支援を一体的に行う県の機関の設置を知事に提案しました。そして、14 年度予算で「ウーマンズジョブほっとステーション（仮称）」の設置が決まり、出産・子育てなどに応じたきめ細かな就労支援が図られます。

◎新たに里親育成支援事業をスタート

新たに 14 年度予算で、「里親育成センター（仮称）」を設置し、広報啓発活動や研修事業を行うこととなりました。全市町に複数の登録里親さんを確保し、里親委託率と養育力の向上が期待されます。